



いよいよ、夏本番！プール開きは、もうすぐです。楽しく水遊びするためには、健康チェックが大切です。体調の悪いときは無理をせず、目・耳・皮膚など病気は、早めに治療しておきましょう。また、プール遊びの後は、大変体が疲れます。早く寝るなどして疲れを残さないようにしましょう。

プールの時は忘れずにチェック

- 朝食は食べさせましたか？
- 下痢はしていませんか？
- 鼻水は出ていませんか？
- せきは出ていませんか？
- 皮膚に発疹などは出ていませんか？



- 熱は平熱ですか？
- つめは短く切ってありますか？
- 目は赤くないですか？
- 耳は痛くないですか？

*子どものようすを朝、よく観察して
上記の項目について、チェックしてみましょう。

☆プールに入れる病気

滲出性中耳炎…中耳に炎症が起こり、リンパ液がたまって聞こえが悪くなります。
治療のチューブが未挿入で、発熱や痛みがなければ一般的にプールは可能です。

水いぼ…感染力は強いですがプールの水を介しての感染はしません。
ただし、肌が直接接触するとうつることがあるので水着の上にTシャツを着用して入ります。



☆プールに入れない病気

頭じらみ…髪の毛に触れたり、タオルやブラシを共有するとうつることがあります。

アデノウィルス…感染力が強いので、発症したら医師の許可が出るまで登園禁止です。
(プール熱・はやり目)

手足口病・ヘルパンギーナ…手足と口に発疹ができたり、発熱と口内炎ができる夏風邪の一種で、どちらも症状がなくなったあとも、無理をすると髄膜炎や合併症を起こすことがあります。

※そのほかに急性中耳炎・副鼻腔炎・外耳道炎・とびひなども入れません。